

# 局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

<b>局名</b>	<b>建設局</b>
-----------	------------

<b>基本計画</b>	柱 暮らしを彩る
	大項目 快適に暮らせる身近な生活空間づくり
	取組みの方針 うるおいのある空間づくり

担当局 / 総務担当課名	建設局	総務課
連絡先	582 - 2252	

21年度計画

-1-(2)-

<b>施策名</b>	<b>魅力ある生活空間づくり</b>
------------	--------------------

<b>施策の概要</b>	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	子育て、健康づくり、地域づくりなど地域のニーズに応じた魅力ある公園づくりを進めます。また、市民、企業などの幅広い参加により、花と緑の並木通りの整備、歩行者空間や公園等の街角の花壇整備などを進めます。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	うるおいのある空間づくり

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度	目標値	
	年度	平成21年度		2 公園	年度	平成27年度
子育てに配慮された公園数			実績	2 公園	目標値	32公園
育児サークル等が活動する市民センターや児童館に隣接する公園に乳幼児を対象とした地域のニーズに応じた魅力のある公園づくりを進めています。これまでに市内15箇所の公園に整備しており、今後毎年2公園ずつの整備を進め、平成27年度に25公園と設定します。	現状値	15公園	達成度	100.0 %		
公共花壇及び市民花壇の面積	年度	平成21年度	計画	44,587 m <sup>2</sup>	年度	平成25年度
公共花壇及び市民花壇は市民に一番身近にある花壇であり、市と市民の花づくりの実績が直ちに反映されるものです。毎年500m <sup>2</sup> 増やし、平成25年度に46、587m <sup>2</sup> と設定します。	現状値	44587m <sup>2</sup>	実績	44,587 m <sup>2</sup>	目標値	46587m <sup>2</sup>
			達成度	100.0 %		
	年度		計画		年度	
	現状値		実績		目標値	
			達成度	%		
<b>コスト</b>	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	事業費		127,045 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
		うち一般財源		103,870 千円	25,950 千円	

## 局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	<b>B</b>	子育てに配慮した公園整備は、育児サークル等が活動する施設に隣接する公園で実施しており、また「公園に来る回数が増えた。」「子育て中の親同士で話ができ、子育て中の不安やストレスが軽くなった。」など概ね良好な意見を得ていることから、施策の実現に有効であると考えられます。 地域に役立つ公園づくり事業については、計画策定・工事までに時間がかかっている箇所もありましたが、概ね計画通りに進捗しており、地域の要望を踏まえた公園づくりを着実にすすめています。 花壇づくりには、500団体以上、15、000人以上の市民の参加により、花と緑による潤いのある空間づくりを実現しています。
<b>今後の局施策の方向性</b>	今後は、育児サークル等の活動状況や地域の意見を取り入れるなど、現状を踏まえた公園整備を着実に進めていきます。また市民花壇や公共花壇においては、市民ボランティアとの協働やスポンサー花壇など企業の協力を得ながら、「魅力のある生活空間づくりに対する」事業効果を高めていきます。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

## 担当局の評価に対する意見(財政局・企画文化局)

<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価 <input type="checkbox"/> 下記のとおり
---

施策名 魅力ある生活空間づくり

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]					21年度			21年度
子育てに配慮した公園整備			10,000 千円	7,200 千円	裁量的経費			ア	
事業費のうち一般財源			3,000 千円						
地域に役立つ公園づくり事業			18,790 千円	7,500 千円	裁量的経費			ア	
事業費のうち一般財源			4,415 千円						
「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり			98,255 千円	11,250 千円	裁量的経費			ア	
事業費のうち一般財源			96,455 千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						

局施策全体のコスト	21年度		
	事業費	人件費(目安)	
	127,045 千円	25,950 千円	
施策全体の事業費のうち一般財源	103,870 千円		

局施策の 21年度評価
B

【局施策評価】  
 A: 大変良い状況にある  
 B: 概ね良い状況にある  
 C: 概ね良い状況とまでは言えない  
 D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

担当局/課	建設局	緑政課・公園建設課
連絡先	582-2466 (緑政) 582-2460 (建設)	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	快適に暮らせる身近な生活空間づくり
	取組みの方針	うらおいのある空間づくり
	主要施策	魅力ある生活空間づくり

関連計画	
事業期間	平成15年度～
経費区分	裁量の経費

- 1 - (2) -

事業名	子育てに配慮した公園整備
-----	--------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	本事業は、乳幼児期の屋外における自然体験や社会体験の場、子育て中の親同士のコミュニケーションの場として、既存公園に子育てに配慮したコーナーを設置することにより、乳幼児の心身の発達を促し、子育て中の保護者のストレスを軽減し、保護者が育児経験者などと世代を越えた情報交換や交流の場とすることに寄与するなど、少子化社会へ向けた地域社会の活性化を図ることを目的としています。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	魅力ある生活空間づくり	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		当初計画	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの設計及び整備	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの設計及び整備	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの設計及び整備、次年度工事予定の2公園の実施設計	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの整備、次年度工事予定の2公園の実施設計		東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの整備、次年度工事予定の2公園の実施設計
現状	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの設計及び整備	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの設計及び整備	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの設計及び整備、次年度工事予定の2公園の実施設計	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの整備、次年度工事予定の2公園の実施設計	東西1箇所、計2公園の乳幼児コーナーの整備、次年度工事予定の2公園の実施設計			
実施状況	成果・活動指標 (上段: 指標名、下段: 指標設定の考え方)					平成21年度	目標	
	年度ごとに乳幼児コーナーを東西1箇所、計2公園に整備					計画	2 公園	年度
	育児サークル等が活動する市民センターや児童館に隣接する公園に乳幼児を対象とした公園整備を行っている。これまでに市内15箇所の公園に整備しており、利用者からは「公園に来る回数が増えた。」「子育て中の親同士で話ができて、子育て中の不安やストレスが軽くなった。」などの好評な意見を得ており、今後も事業実施に努めたい。					実績	2 公園	内容
						達成度	100.0 %	年度
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度: 執行額]					事業費	10,000 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度) 7,200 千円
						うち一般財源	3,000 千円	
単年度計画							担当課の他、実績データの収集や候補リストの更新など関係部署も関わっている。	

事業の実施結果・進捗状況の確認	実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	21年度においては、地元町内会や公園愛護会に加えて育児サークル等と公園づくりの協議を行い、東西1公園ずつ、計2公園に乳幼児も安心して遊べる「乳幼児コーナー」の整備が完了した。
-----------------	------	-------------------------------------	---

事業の再検証			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	整備後のアンケートによると、整備内容について8割以上の利用者から「大変よい」、「公園へ来る回数が増えた。」旨の良好な意見を得ており、当該事業は有効と考えられます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	当該事業は、育児サークル等が活動する市民センターや児童館等に隣接する公園で実施しており、人の集まりやすい場所に整備することで、多くの市民に利用されていることから効率的に整備を行っており、効果は高いと考えられます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	利用者の満足度も高いことから施策実現のため、今後も本事業を積極的に実施していく必要性が高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	他の実施主体は考えられず、実施主体は市が適当だと考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	本事業は施策に対する有効性も高く、「魅力ある生活空間づくり」を図っていく上で重要な事業であると考えています。今後も目標の達成に向け着実に取組みを進めていくことが適当だと考えます。また、公園の選定に当たっては、育児サークル等の活動状況を最新の情報に更新しながら、より効果の高いと考えられる公園に整備して、市民に喜ばれるよう事業を進めていきます。さらに、現状では1箇年において、地元協議、実施設計及び整備工事までを行っていますが、今後は地元との協議時間を今以上に確保するため、前年度に地元協議、実施設計までを行い、次年度に整備工事を行うことで、よりきめ細やかな地元対応を行い、事業を実施します。

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	建設局	緑政課
連絡先	582-2466	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	快適に暮らせる身近な生活空間づくり
	取組みの方針	うるおいのある空間づくり
	主要施策	魅力ある生活空間づくり

関連計画	北九州市緑の基本計画
事業期間	H19 ~
経費区分	裁量の経費

-1-(2)-

事業名	地域に役立つ公園づくり事業
-----	---------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか、	『地域に役立つ公園づくり』とは、「計画段階から地域の声を聞き、地域住民と協働で策定していく地域提案型公園計画」で具体的には、小学校区を1つの単位として、まちづくり協議会を始め幅広く地域の意見を伺いながら、既存の街区公園を活用して改修したり、足りないものは追加するなどし、より利用されるよう地域(校区)が求めている機能を持った公園計画を策定するものです。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	魅力ある生活空間づくり	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	モデル校区4地区の基本計画策定及び一部整備	モデル校区4地区の継続公園整備 新規市内8校区での基本計画策定一部整備	H22年度計画策定校区での公園整備 新規市内8校区での基本計画策定一部整備	H23年度計画策定校区での公園整備 新規市内8校区での基本計画策定一部整備	H24年度計画策定校区での公園整備 新規市内8校区での基本計画策定一部整備		なし	
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)							平成21年度	目標
		『地域に役立つ公園づくり』事業実施校区数					計画	4 校区	年度	H27年度
		本事業を実施した校区数、各校区において、計画策定のためのワークショップ等を地域住民と実施し、意見交換を重ねながら、地域で使いやすい公園整備を目指すもの。毎年、各区1校区程度選定し、事業実施を行います。					実績	4 校区	内容	32校区で実施(累計20~27年度)
							達成度	100.0 %	内容	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月(21年度:執行額)					事業費	18,790 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)		
						うち一般財源	4,415 千円	7,500 千円		
単年度計画										

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	21年度は、前年度に計画策定を行った市内4つのモデル校区での公園整備を行いました。工事に関する詳細の地元協議や工事の日程調整など、工事着手が一部遅れた箇所があったが、全体としては、概ね計画通りに進捗しています。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	これまでの地域に身近な街区公園の整備については、どの公園についても、同じような遊具等が設置され、画一的なものであったが、各公園周辺の住民の意見を広く聞きながら、整備に反映することにより、校区内の公園でも特色付けができ、さらなる利用促進につながっています。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4: 高い 3: やや高い	3	現在、1校区に対して、係長1名、職員1名の計2名体制で対応を行っている。地域との連絡調整やワークショップの開催支援などを行っている。コンサルタント等への委託を行い、業務の軽減は図っているが、市内部の関係部局や、地域自治会、まちづくり協議会等との調整は直接市で実施しています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2: やや低い 1: 低い	4	本事業は市民と協働で、公園計画を策定するものであり、地域づくりにも貢献していることから、施策実現のため、今後も本事業を積極的に実施していく必要が高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか。市の関与をなくすることはできないのか。		4	現在のところ他の実施主体は考えられず、実施主体は市が適切と考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了	ア	本事業は施策に対する有効性も高く、「快適に暮らせる身近な生活空間づくり」を図っていく上で、重要な事業と考えます。今後も目標達成に向け、着実な取り組みを進めていくことが適当であると考えます。 現在、市内8校区での計画策定(ワークショップ)を実施していますが、H22年度の実施状況を再検討し、今後各年度で新規着手する校区数の見直しを行う必要があると考えています。

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	建設局	緑政課
連絡先	582-2466	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	快適に暮らせる身近な生活空間づくり
	取組みの方針	うるおいのある空間づくり
	主要施策	魅力ある生活空間づくり

関連計画	北九州市緑の基本計画
事業期間	平成3年度～
経費区分	裁量的経費

-1-(2)-

事業名	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	
-----	-------------------------	--

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市内各所が花で彩られ、四季折々に花を楽しむことが出来る「花のまち北九州市」をさらに育てていき、市民はもちろん、ここを訪れた人にも「住んでみたい、住み続けたい」と思える「花とみどり」と潤いのまちづくりを目指します。そのためには、市内で花づくりを行っている市民に継続的に花苗を配布し、また花壇づくりのコンテストの開催や花新聞に発行などを通じて、市民の関心を高め実現していきたいと考えています。	
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	魅力ある生活空間づくり

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		当初計画	花苗配布及び公共花壇の整備 公共花壇及び市民花壇の面積 44587㎡	花苗配布及び公共花壇の整備 公共花壇及び市民花壇の面積 45087㎡	花苗配布及び公共花壇の整備 公共花壇及び市民花壇の面積 45587㎡	花苗配布及び公共花壇の整備 公共花壇及び市民花壇の面積 46087㎡		花苗配布及び公共花壇の整備 公共花壇及び市民花壇の面積 46587㎡	
	現状	公共花壇及び市民花壇の面積 44587㎡	公共花壇及び市民花壇の面積 45087㎡	公共花壇及び市民花壇の面積 45587㎡	公共花壇及び市民花壇の面積 46087㎡	公共花壇及び市民花壇の面積 46587㎡			
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
	公共花壇及び市民花壇の面積					計画	44,587 m <sup>2</sup>	年度	平成25年度
	公共花壇及び市民花壇は市民が一番身近にある花壇であり、市と市民の花づくりの実績が直ちに反映されるものであるため、その面積を指標としました。					実績	44,587 m <sup>2</sup>	内容	公共花壇及び市民花壇の面積 46587㎡
						達成度	100.0 %	年度	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度・執行額]					事業費	98,255 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
						うち一般財源	96,455 千円	11,250 千円	
単年度計画							担当課の他、各区まちづくり整備課など関係部署も関わっています。		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	21年度は市民向けにPR等を行った結果、公共花壇、市民花壇の面積が2,747㎡増えて44,587㎡となりました。
------	-------------------------------------	--

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	実施以来、北九州市の花施策の中心となっており、平成19年度は全国花のまちづくり大賞を受賞する一因となった。また、平成21年度には本市において「全国花のまちづくり北九州大会」を開催するなど、施策の実現に対する有効性は高いと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	2	市民花壇は花づくりに関心のある市民と市がそれぞれ花苗を負担しています。市が配布している花苗は必要量の半数程度であり、市民との協働で花のまちづくりづくりを進めるといことにより、市としては低コストで事業を推進していることとなります。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	3	現在500団体以上、約15,000人の市民が花壇づくりに参加して花と緑のまちづくり事業を支えており、影響は大きいと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	市が主体的に動くことによって、市民との協働が成立しており、予算的にも人的にも市の関与は必要です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	本事業は施策に対する有効性も高く、「魅力ある生活空間づくり」を図っていく上で重要な事業であると考えています。今後も目標の達成に向け着実に取組みを進めていくことが適当だと考えます。市民花壇においては市民との協働を推進していき、種からの花づくりやフラワーコーディネーターの活用などを推進していきます。公共花壇においては、「勝山公園うるるっちゃ花壇」ボランティアとの協働や、スポンサー花壇など企業の協力を得ながら、効率的な維持管理に努めるとともに、新たに設置する場合には、より効果の高いと考えられる場所に設置し事業効果を高めていきます。